

義務教育学校・明野地区準備委員会 第8回総務部会議事要旨

- 開催日時 令和3年11月18日（木）午後6時30分～7時50分
- 開催場所 明野いきがいセンター 研修室
- 出席者 筑西市義務教育学校・明野地区準備委員会総務部会委員14名
教育委員会 古幡教育部長、鈴木次長、市塚義務教育学校整備推進課長、
野口参事兼指導課長、その他事務局職員（指導課・義務教育学校整備推進課）

■会議経過（概要）

1. あいさつ 【松崎部会長】
2. 議事
(1) 明野五葉学園の制服について【大木係長】

【事務局説明】

昨年度、学校運営部会において協議を行い、体操服については、小学校5校においては既に統一されていることから、そのまま使用することとし、中学校においては、中学校を表す【J.H.S】だけ消してそのままのデザインで使用する方が良いのではないか？という結論になった。また、お下がりも使用できるように【J.H.S】がプリントされたものも使用して良い方針で進めていく予定。上履きと体育館履きも現在と同様にそのまま使用することとなった。（新体操服を購入するための負担を無くすため。）

参考までに現在の制服購入の流れは、衣料組合から学校経由で案内の手紙を配布し、入学説明会後に採寸をするような流れになっている。下妻イオンにも販売されているが、ほとんどの家庭が地元洋品店で購入している。

本日協議していただくのは大きく分けて3点

- ①制服を着用する対象者
 - ②制服を変えるか変えないか
 - ③アンケートを行うか総務部会で協議するか
- 資料にもあるようにLGBT対応についても考慮して協議していただきたい。

【委員による協議】

- ・変更についての決定は、この部会でなく、子ども達から制服を変えて欲しいと意見があってから動くのが良いのではないかな？
→最近の子ども達は忙しすぎてそんな余裕がないのでは？また最近はそのような活発な子供たちがいないのでは。生徒会で話し合うとしても、話し合う生徒はその制服を着用しないので、現実的ではない。
- ・今の制服は開校から 50 年変わらず、軍隊のなごりのようなイメージがある。もちろん子ども達や保護者が今のままで良いということであれば、それはそれで良いけれど、時代に即した物が良いのでは？子供たちから意見が出ると良いが。
- ・今も衣料組合があるのか？今後は、もっと公平に広くみんなにチャンスを与えるべきではないか。公平な機会を与えるためにも是非コンペ等を行ってほしい。そういう時代ではないか。
- ・保護者負担が軽くなるよう考えるべき。途中で買替られるような気軽に買える値段のものを。制服はいくらぐらいかな？
→参考としてイオンでは、女子冬服 38,000 円 男子冬服 42,000 円程度である。
→ブレザーのが高いのか？→高い (50,000 円程度)
→お父さんのスーツのが安いのでは？安く買えるのだから、安くできるはず。
- ・生地も最高級のものを使う必要はない。
- ・制服とかではなく、義務教育学校の 1 年生から 9 年生までを対象に、気軽に着れるジャケットやカーディガンなどの楽に着られるものはどうか？アンケートをとったら良い案が出てくるかもしれない。
- ・変えるなら今しかないのでは？せっかく統合するのにワクワク感がない。
- ・娘はブレザーにあこがれている。
→ブレザーの生徒はセーラー服にあこがれ、セーラー服の生徒はブレザーに憧れる傾向があるようだ。
- ・息子には大きいサイズを買って 3 年着用させたが、ブレザーとなった場合、サイズ感はどうかな？
- ・学ランの 3 本線はどうか？
→修学旅行などで集団行動をする時には分かりやすく良い面もある。線がなければ高校に行ってもそのまま使えるのに買い替えなくてはならない。
→線は取り外せるとの話も聞いたことがある。
- ・公立中学校では、男子は詰襟 8 割、ブレザー 2 割の、女子はセーラー服が 5 割ようだ。アンケートを行わずにこの部会である程度決めていかないと、この会の意味がないのでは？
→令和元年までは、統合をするタイミングで制服を変える学校は県内でなかったが令和 2 年以降は LGBT 対応のブレザーに変更しているところが主流になってい

る。また、リボンやネクタイを学校の要望で無くしたところもある。(忘れ物検査の簡略化のため)

- ・学校の教員に制服についての意見を聞いたが、変えた方が良いという先生や、セーラー服で何も問題はないという意見があった。女子のセーラー服は首元が開いているし、スカートも冬は寒いのでは？
- ・現在はスラックスについて本人や保護者からの申し出は無いが、相談があれば当然対応していく。
- ・スカートでもスラックスでもどちらでも良いという方向は良いと思う。
- ・制服を変えるならこのタイミングか。
- ・伝統を変えるというのは大変なこと。このままの制服が良いという声もあるだろう。ただし男子女子共に安心して着られるものでないと。女子がスラックスを着用するだけでなく、逆の場合もある。
- ・7年生から着用するのか、6年生からになるのか。義務教育学校なので小学生とか中学生という考えはない。せっきく義務教育学校を作るのだから、1年生から意識をもって取り組まないともったいない。ブレザーなのかどうか別として、今の伝統をどう守るかも考慮し時代にマッチしたものにすべき。
- ・アンケートを行うと色んな意見が集まりすぎて、まとまらなくなるのではないかな。
- ・アンケートは難しい。小学校高学年にとったとしても、自分が着るのは統合前であるから今の詰襟とセーラー服である。そこまで検討する知見もないかもしれない。
- ・高額な制服を買えない家庭もある。もらったりして用意する家庭もあるので慎重に検討すべき。
→困っている家庭には市でも補助制度がある。お下がりをもらえる・もらえないで決めなくても良いのではないかな。
- ・学ランやセーラー服を改造する時代もあったが、今はやんちゃな生徒もいない。
- ・新たな制服を導入した場合、8年生と9年生だけ旧制服になっても過渡期で致し方ないだろう。
- ・着用する学年は、教育課程にもよるが、これまで同様に7年生から9年生の後期課程の生徒が良いであろう。

【総務部会の方向性】

多くの委員（出席者14名中10名）が、制服を変更したほうが良いというご意見であったので、次回以降デザイン等については案をいくつか出していただき、方向性を決めていく。

3. その他

(1) PTA 部会の進捗状況について説明【長尾主事】

令和3年10月21日(木)において、スクールバスの対象となる範囲を、これまでの「明野中から直線で3km以上・道のり4km以上」から「道のりで3km以上」とする案を準備委員会に推薦することとなった。

(2) 学校運営部会の進捗状況について説明【野口指導課長】

毎月明野地区校長会で具体的な検討を進めている。教育課程については、年内に決定したい。

⇒次回総務部会：令和4年2月下旬～3月上旬開催予定

以上